

協同

[特集] 経済事業収支改善の着実な実践に向けて
県内JAの取り組み状況・課題と対応のポイント

2022
May
KYODO 5

兵庫の農業人
HYOGO-NOUGYOJIN



タッグ!!!



タッグ!兵庫の農業人

地元企業と連携し、新規就農者の支援と
地域農業の活性化に取り組む

FARMER × JA Staff
山田尚孝さん・中村侃右さん
・吉岡大貴さん
詳細は
裏表紙へ

兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中心!

YouTubeで 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JAあいおい

地元企業と連携し、新規就農者の 支援と地域農業の活性化に取り組む

イチゴの生育状況について話す山田さん(左)と中村さん(中央)と吉岡さん



種苗業者



山陽種苗株式会社
営業部
山田 尚孝さん

私の担当する地域では、若手生産者も増えてきています。これからもお客様とコミュニケーションを図り、地元農業を盛り上げていきます!

生産者



イチゴ生産者
なかむら かんすけ
中村 侃右さん

今後は、生産量を多く増やして、たくさんのお客様にイチゴを提供し、地元に貢献できるよう頑張ります!

JA職員



JAあいおい 営農経済部
アシスタントマネージャー
吉岡 大貴さん

農地保全活動や農作業受託を通じて、第2の中村さんのような新規就農者に農地を受け渡せるように取り組みを続けていきたいです。

JAあいおいでは、地域に密着した組織としての特長を活かし、地元企業と協力し、新規就農者の支援に取り組んでいる。

JAあいおいで唯一の青年の認定農業者である^{なかむらかんすけ}中村侃右さんは、相生市野瀬地区の廣瀬ファームでイチゴ栽培に励んでいる。県立農業大学校在学時、土壌について学んでおり、その知識を活かしたハウスでの土耕栽培がしたいのがきっかけだ。中村さんは毎日、液肥・廃液の濃度測定や培地の pH 計測を行って生育状態をチェックし、急な温度変化や日照不足によるイチゴのストレス軽減や品質向上を図っている。栽培を始めて2年目になる中村さんのイチゴは、同JAの直売所を中心に販売されており、甘みと酸味のバランスが良く、大きい粒が特長で、リピーターが多くすぐに完売してしまう時もある。こだわりのイチゴの栽培・販売は、同JA営農経済部の吉岡大貴さんをはじめ、地元企業の山陽種苗株式会社営業部の山田尚孝さんなど強力なサポーターが後押ししている。

JAあいおいの吉岡さんは、購買・販売事業から営農指導まで営農・経済事業全般を担当している。中村さんがイ

チゴ栽培を始めるにあたり、的確な営農指導ができるよう、施設栽培のノウハウを学んだ。中村さんは「ハウスの貸与事業からイチゴの販売のPRまで幅広く相談に乗ってもらって助かっている」と話す。一方、吉岡さんは、「中村さんの安定した経営や販路の確保を支援し、農家所得の向上に貢献できるようにもっと販売事業に力を入れたい」と意気込む。

また、山陽種苗株式会社の山田さんは、中村さんの新規就農時からJAと連携して支援し、主に農業資材の相談や情報提供を行っている。山田さんは、「これからも中村さんのニーズに対応できるよう力を入れていきたい」と話す。

JAあいおいは、今後も地元企業と連携しながら、新規就農者の支援に取り組み、地域農業の活性化に取り組む。

JAあいおいの新規就農者支援の取り組み

JAあいおいでは、**地域密着**という利点を活かし、地元企業と一体となって、新規就農時から、栽培・販売に至るまで**総合的なサポート**により新規就農者支援に取り組み、地域農業の活性化に取り組む。